



## 内政

### 1. カーマ大統領、政府のプロジェクト進捗調査のためのタスクチーム設置

カーマ大統領は、政府のプロジェクト及び計画の進捗状況を定期的に調査する目的でタスクチームを設置し、メンバー8名を任命した。タスクチームのメンバーは元閣僚や退職した公務員で構成され、ケディキルウェ前副大統領が統括を務める。タスクチームは、政府のプロジェクト及び計画の実施状況を監視し、リスク評価を行うとともに、調査をしたプロジェクト及び計画の改善策を提案する。また、タスクチームは、調査結果を大統領に直接報告することとなる。

(4日：デイリー・ニュース紙)

### 2. マカト保健大臣、公的保健医療機関からの大量の医師離職に頭を悩ませる

マカト保健大臣は、四半期に一度行っている定例プレスブリーフィングの場で、公的保健医療機関から大量の医師が離職していることについて懸念を述べ、離職した医師は、去年1年間だけで42名にのぼることを明らかにした。同大臣は、この問題を解決するために、保健省が他の南部アフリカ(SADC)地域の保健医療従事者の労働条件を調査しており、その結果をとりまとめ、今後、公務員管理局に提案する予定であること、また、現在、キューバから医療専門家派遣の支援を受けており、モーリシャスからも専門家派遣の支援を受けるべ

く作業を進めていることを説明した。

(23日：メヒ紙)

### 3. 旅客鉄道輸送再開

22日、ボツワナ鉄道の旅客輸送が8年ぶりに再開され、開始式にはカーマ大統領が出席した。この旅客鉄道は「BR Express」の名称で、空調、会議室、Wi-Fi設備などを完備している。開始式の場でカーマ大統領は「旅客鉄道輸送再開の主な理由の1つは国民からの高い要望にあった。旅客鉄道によって、ビジネスの機会が拡大するだろう。また、必要な食事、警備等のサービスをボツワナ鉄道は外部委託しており、これにより雇用も創出されるだろう」と述べた。

ボツワナ鉄道はロバツェとフランシスタウンの間を運行し、ハボロネ、マハラペ、パラペ、セルレで途中停車する。平日は夜間のみ運行、休日は日中の運行になる予定である。

(23日：メヒ紙)

## 外交

### 1. ボツワナ政府、国連の北朝鮮制裁措置を支持

4日、ボツワナ政府は、国連の北朝鮮制裁を支持する声明を発表した。声明では、ボツワナ政府は国連安保理による北朝鮮に対する追加制裁措置を歓迎・支持し、追加

制裁決議に対する抗議として北朝鮮が行った短距離ミサイル発射に対し、最も強い言葉で非難するとしている。また、全会一致で決議した国連安保理を賞賛している。

(4日：デイリー・ニュース紙)

## 2. モラレ外相代行、ボツワナ外交政策に関する野党非難に反論

2月26日、ドウマ・ボコ野党連合「民主改革のためのアンブレラ(UDC)」党首が、国民議会の場でボツワナ政府の南シナ海領有権問題に関する政府見解等の外交政策を非難したことを受け、モラレ外相代行は外交政策に関する所見を発表した。所見では、まず、「ボツワナと中国の外交関係は良好であり批判はあたらない」旨述べている。また、「ボツワナの外交政策は民主主義、法の支配、国家間の協調、紛争の平和的解決、領土の一体性及び国家主権といった普遍的価値に深く根ざしており、これらの価値に基づき、国際平和と安全を脅かす恐れのある課題に対しその立場を明確に主張していく」旨述べ、ボツワナの外交政策が適正な判断基準に基づき進められていることを主張した。

(4日：デイリー・ニュース紙)

## 3. 中・ボツワナ関係は優良

18日、ベンソン・モイトイ外務国際協力大臣は国民議会で中・ボツワナ関係について「中・ボツワナの関係は優良であり、相互にとって有益である。戦略的パートナーとして、更なる二国間関係の進展と協力に向け今後も両国は積極的な取り組みを行う」旨答弁した。また、同大臣は「両国の外交関係は1975年に樹立され、以後、

様々な分野で協力を行ってきたとともに、2012年10月には、初めて中・ボツワナ共同フォーラムをハボロネで開催し二国関係を拡大した。昨年12月、中国政府が南アで実施したFOCACでは、中国はボツワナをはじめとするアフリカに対して支援の拡大を約束した。この枠組みのなかで、中国とボツワナはあらゆるレベルで政策協議を行い、ボツワナ政府は対アフリカ60億ドルの支援を受けるべく中国に対し幾つかの事業案を提出した。このように、中・ボツワナ関係は依然として強固であり、この有益な関係は将来にわたって継続されると信じている。」とも述べた。

(24日：メヒ紙)

## 4. ベンソン・モイトイ大臣、AUC委員長選で南部アフリカ地域の候補となる

31日、ボツワナ政府は、3月23日にハボロネで開催された南部アフリカ地域外相会議で、ベンソン・モイトイ外務国際協力大臣がアフリカ連合委員会(AUC)委員長選挙の南部アフリカ地域の候補として支持を得たことを発表した。今後、同大臣は、南部アフリカ地域の候補として、アフリカの他地域の候補と争うことになる。併せて、ボツワナ政府は、現職であるズマAUC委員長の任期は2016年の6月までであり、次期委員長選挙はルワンダで6月17日、18日の会期で開催される第27期アフリカ連合総会の場で行われる予定であること、AUCは委員長、副委員長、及び8名の委員で構成されることを発表している。

(31日：ボツワナ政府報道発表)

## 経済

### 1. 経済指標

#### 1) ボツワナの主要経済指数

##### ・経済成長率

2015年経済成長率は1.0%（2014年は3.2%）。

##### ・インフレ率

2016年2月は3.0%（2016年1月は2.7%）。

##### ・為替レート（FNB）

2016年3月31日：

1 プラ = 0.0895 米ドル

1 プラ = 1.316 南ア・ランド

1 プラ = 10.15 円

2016年2月29日：

1 プラ = 0.0852 米ドル

1 プラ = 1.359 南ア・ランド

1 プラ = 9.69 円

#### 2) ボツワナ、予算透明性ランキングで47点

国際予算パートナーシップ（IBP）の報告によると、2015年の予算透明性ランキングで、ボツワナは100点満点中47点と格付けされた（当館注：47点は「非効率的、限定的」のカテゴリーに該当。ボツワナはアフリカ諸国内では6位）。同ランキングは、109種類の予算透明性に関する指数を総合的に評価しており、ボツワナは、特に予算決定に際する市民の参加の分野において19点（100点満点中）と点数の低さが目立つ。IBPは報告の中で、「ボツワナ政府は予算の年内報告書及び中間報告書を作成、一般公開するとともに、予算策定にあたり市民参加を推進する必要がある」旨提言した。

（11日：メヒ紙）

### 2. ダイヤモンド産業

#### 1) デブスワナ社ブリーフィング

16日、デブスワナ社はダイヤモンド産業関係者向けにブリーフィングを開き、2015年の経営状況及び今後の展望について報告した。報告によると、2016年はダイヤモンド市場の緩やかな回復が見込まれており、実際に、2016年1月のデビアス・サイトでは5億4,500万米ドルであった売上げが2月サイトにおいては6億1千万米ドルと上昇した。デブスワナ社は、2016年の方針として、生産性の高い鉱山に生産を集中し、一方で生産性の低い鉱山は生産量を抑える方向性を示した。

（18日：デイリー・ニュース紙）

### 3. エネルギー・資源

#### 1) モルプレB発電所フェーズII計画、日本企業が落札

公共調達委員会（PPADB）は、アジア企業（日本企業の丸紅と韓国企業のポスコ・エネルギー）によるコンソーシアムをモルプレB石炭火力発電所拡張計画の落札者とする鉱物エネルギー水資源省からの要請を承認した。同コンソーシアムはボツワナ電力公社（BPC）に対して1メガワット時当たり812.56プラ（当館注：約8千円相当）の対価で30年間電力を供給する。事業費8億ドル（80億プラ）のうち6億ドルはJBIC、韓国輸銀及びその他の民間金融機関により融資され、企業はBPCに対する売電契約により事業費を回収する。本発電所は環境に優しい燃焼技術を備えた循環流動層ボイラが設置され、窒素酸化物

や硫黄酸化物といった汚染物質の排出が抑制される。

(9日：メヒ紙)

## 2) ハボロネ・ダム, 貯水量上昇

過去12ヶ月間の間, 枯渇し機能していなかったハボロネ・ダムが, 最近の雨の影響から貯水量が13.9%にまで上昇した。これにより, ハボロネ地区へのこの先4ヶ月間の送水が可能となるものと見込まれる。

(21日：モニター紙)

## 4. IMF, ボツワナの経済政策を評価

IMFは, 昨年末のボツワナにおけるモニタリングに基づき, 「4条協議」に提出した報告書の中で, ボツワナ政府の現在の経済低迷に対する対応は良好であり, 財政支出の抑制等の政策により3年以内に財政赤字を修正し黒字にする政府の取り組みに対し好意的な評価を示した。

(22日：デイリー・ニュース紙)

## 5. 「ビジョン2036」原案, 間もなく提出

21日, モラレ大統領府大臣は, 現在も全国規模で実施されている「ビジョン2036」(当館注: 国家開発目標を具体的指標・数値を用いて掲げたもの。2016年9月に現行のビジョン2016が終了予定。)に関する協議会につき, そこでの協議結果を参考にした上で, ビジョン2036原案が冬の国会開始前に提出される予定である旨報告した。

(24日：デイリー・ニュース紙)